

令和 5 年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人 立志舎
名古屋動物専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和 4 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和 5 年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

西川 明香里 氏 平成動物病院 動物看護師 看護主任 卒業生
山口 常夫 氏 一般社団法人 全日本犬訓練士連合協会 理事

<事務局>

金子 徹 名古屋校部長
杉山 昌二 名古屋動物専門学校 教務課長
吉田 裕孝 名古屋動物専門学校 教務課長
赤木 啓嗣 名古屋動物専門学校 教務課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	<p>イ. 教育理念、目的、育成人材像について定められているか 本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識及び人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。</p> <p>ロ. 学校教育における職業教育の特色は何か 本学の特色は、開学以来独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。また動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け動物業界のみならず異業種企業や官公庁にも就職していることである。</p> <p>ハ. 教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか 学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。 これら、理念、「ゼミ学習」による授業運営及び基本目標については教職員に周知徹底し、学生、保護者等にも周知に努め、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p>

	<p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか</p> <p>「ゼミ学習」の導入により、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、民間企業就職実績が両立している。また、育成人材が業界ニーズに向けられるように、毎年開催する学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通じて業界の方々の意見を取り入れてカリキュラム編成を行い、見直しを行っている。今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じ、分散登校や一部オンラインによる授業を展開した。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。 (1)学生にとって明確な目標を持つことで、とても勉強しやすいと思う。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目標に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</p> <p>運営組織や意思決定機能は運営組織図に従い運営しており、各部署の役割と権限、人的体制を整えている。各部署では目標達成のために数値目標が明確にしており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ハ. 人事制度や組織整備がなされているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職がおこない、学校間の調整は企画本部また学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>教育活動に関する情報公開については、資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。その際、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せている。</p> <p>ヘ. 情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムによる業務の効率化のため、学務システム（入試システム、学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。また、就職部は求人情報をデータベース化している。学務システム（入試システム、学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。</p>

	<p>この基準について委員の方から「妥当」であると評価され、特に意見はなかった。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れて、知識の習得を確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養している。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>コースの目標を明確にし、学内就職セミナーで、企業の人事担当者から回収したアンケート、インターンシップ評価書を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p> <p>ハ. 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各コースで目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。</p> <p>ホ. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。</p> <p>全コース1年次の1月に動物関連施設にてインターンシップを行っている。</p> <p>ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施し、授業運営の改善を図っている。</p> <p>ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>成績評価・単位認定の基準は明確に定め、学則、専門課程便覧で学生にも周知徹底し、厳正に行っている。</p> <p>チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>カリキュラムは、各コースで目標とする資格の取得および企業の求める人材ニーズに対応するために、カリキュラム作成委員会に必要な科目を体系的に編成し、教育課程編成委員会で得た意見を参考に定期的な見直しを行っている。その際、各</p>

	<p>科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成において目標達成のための科目の適正な配置を行っている。「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、動物看護学科3年生を新設し、愛玩動物看護師養成所として認可を受けた。また令和6年度よりドッグトレーナーコースとペットショップ&セラピーコースを統合し、ペットのスペシャリスト育成を目的としたドッグトレーニング&ケアコースを新設予定。さらに令和4年度から、全日本グルーミング検定の実技試験内容を変更した。今年度も対面授業、分散登校、そしてオンライン授業により、すべての授業を実施することができた。オンライン授業については、Microsoft365 および zoom を利用した。</p> <p>リ. 人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか</p> <p>育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>ヌ. 教員の能力開発のための研修などが行われているか</p> <p>年間を通じての自己啓発や、外部企業等と連携して研修を行っている。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 動物看護コースでもグルーミング実習やトレーニング実習があるのは良いこと。他校では爪力やバリカンは出来るがカットが出来ない学生が多い。授業で行っていないから。本校の学生はそういう意味において、看護コースの学生であってもトリミングが出来る学生が多く重宝されているとのこと。続けて欲しい。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>各学生が習得した専門知識を活かせる希望職種や希望企業への就職を果たすため、学生、クラス担任及び就職指導担当職員と連携して就職活動に取り組んだ成果が就職実績に表れている。なお、今年度における学内就職セミナーについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環でオンライン又は個別開催にて実施した。</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>独自の教育システムである「ゼミ学習」による授業運営により、検定試験や各種資格試験において高い合格実績をあげることができている。</p> <p><動物管理学科の資格取得実績や就職実績の紹介></p> <p>【委員による意見】</p> <p>今年度も素晴らしい結果である。今後もぜひ継続してほしい。</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが目標であるため、担任をはじめ各教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減に取り組んでいる。欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも匿名でも相談できる体制をとって</p>

	<p>いる。また、チェックシートを導入しさらに学生とのコミュニケーションを図っている。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」であると評価され、次の意見があった。 (1) 動物業界への就職活動についてコロナウィルス感染症の影響はありましたか。 【回答】インターンシップを断られるケースがありましたが、採用には影響はありませんでした。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>就職希望者には、就職相談室を設け、就職指導担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、オンライン等により学内就職セミナーを実施している。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生の様々な悩みを解決していくため、それら相談はまずクラス担任が受けるが、担任に話せない事柄もあり、その時は学生相談室を設けているので、学生が相談室の担当者に直接相談できる体制を整えている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>経済的側面に対する支援のため、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。</p> <p>ニ. 学生の健康を担う管理体制はあるか</p> <p>学生の健康管理のため、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施しており、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、校舎入口での検温および手指消毒、授業前の体調チェックシート記入、授業後の机・椅子、教室出入口の扉の取っ手やトイレ、エレベータのボタンなど人が触れる箇所の消毒を行っている。また、教室内やロビーの座席、エレベータ内等は、ソーシャルディスタンスを保つようにしている。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>課外活動として、クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動があり、それらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、一部の部活を除き課外活動は中止した。</p> <p>ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮など学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p>

	<p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うため、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付しており、必要に応じて保護者と面談を行っている。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか</p> <p>「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で高校生の民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生が参加している。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 高校との連携とは、どのようなものがあるのですか。</p> <p>【回答】生体(犬)のお手入れ(グルーミング)、しつけ訓練の実演授業を行います。</p> <p>(2) コロナウィルス感染拡大防止対策は学生も安心して通学できると思います。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っており、学生に教育上支障がないように整備している。さらに、愛玩動物看護師法の政省令に示される養成所の指定基準を満たすための施設・設備の整備をした。</p> <p>令和2年度に本館にWi-Fi環境を整備し、オンライン授業を行った。</p> <p>ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>アジリティ大会、ドッグショー見学、動物関連施設などの学外実習、インターンシップ、高齢者施設でのセラピー活動、教育体制は整備されているが、新型コロナウイルス感染症の影響で海外ペット研修は中止になった。</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を施し、東山動物園の見学やドッグイベントに希望者が参加した。また高齢者施設でのドッグセラピー活動を再開した。</p> <p>ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>この基準についての委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学校で採血やマイクロチップの挿入などする練習ができればいい。ダミーなどを使って練習したり、映像をみるだけでも勉強になる。</p> <p>(2) インターンシップに来る学生の多くが「目的意識」を持たずにくる。しっか</p>

	りと目的意識をもって「自己主張」できると、本人達も勉強になると思う。
基準7 学生の受け入れ募集	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 適正性の確保と、学生募集活動において、教育成果を正しく伝えていきます。民間就職実績等は、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名（イニシャル）・出身校名を載せている。 また、新入生に対して入学後行うアンケート結果では、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で参考になったとの回答を得ている。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。 (1) 国家資格になる動物看護師を希望する学生が増えているようですが、国家資格は取得しておいたほうが、絶対いいとのこと。現状では持っている者と持っていない者の差はあまり明確ではないが、今後必ず違いが出てくる。また働きながらの資格取得は時間的に大変で、学生時代に取得しておくべきものであるとのこと。</p>
基準8 財務	<p>イ. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか 財務全般について少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要があり、予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定めている。予算の編成は適切に手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか 会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか 私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」とであると評価され、特に意見はなかった。</p>
基準9 法令等の遵守	<p>イ. 法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか 職員には毎年愛知県県民生活部県民総務課人権推進室より講師を招いて人権研</p>

	<p>修を実施し、受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣し、その結果を受けて資料を全職員に配布している。法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報の取り扱いに関し、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。学生の個人情報については、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」であると評価され、特に意見はなかった。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点から、航レ支社施設でのドッグセラピー活動や校舎近隣の歩道等の清掃、家庭飼育犬をモデル犬として登録し無料でグルーミングを実施している。</p> <p>名古屋で開催される AJC キャットショー、JKC 中部ブロックトリマー競技会の会場として本学校舎を提供している。JKC の訓練競技会にもスタッフとして参加している。学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握している。また省エネ、エコ活動の取り組みなども行っている。</p> <p>生涯学習については単に授業としての検討だけではなく、地域社会への貢献ととらえ、学生の参加、協力も考慮していく。</p> <p>この基準について委員の方から「妥当」であると評価され、特に意見はなかった。</p>

〔総括的な意見〕

各評価項目の評価は「妥当」であると感じた。

動物業界も日々進化している。犬の訓練の仕方も「今までのやり方」では通じなくなっている。強制的にやらせる、するではなく、進んでやってくれるように信頼関係を築いていく必要がある。その為にも叱ったりするのではなく、正しい知識を学ぶ必要がある。学生の対応も同じだと思う。人間で行われていることが、やがて犬に来る。資料を見ても貴学はよく取り組んでいると思う。よい人材育成を期待している。